

プーチン：西側はサタンのペドファイルによって支配されて いる

ロシア大統領がペドフィリアの蔓延を公然と叩く

【訳者注】これは、昨年の7月に書かれたものであることを、まずご注意願いたい。

毎度、同じことを申し上げるが、プーチンの言葉を聞くと、積もった欲求不満が一度に解消する。それくらい世の中は、非常識と卑劣なウソで固められている。極言すれば、世界指導者としてのプーチンがいなければ、我々は狂い死にるところだった。彼は理性的であるだけでなく、狂ったこの世界を、図式のように冷静に分析して見せる。だからと言って、彼は単なる学者ではない。報復すべき時には、びっくりするような強烈な報復をする。サタン崇拜とペドフィリアの蔓延という、今一番肝心の世界の病巣を摘出し、解説者のように的確に説明する。腐ったものは腐ったもの、サタンはサタンであって、言い換えたりしない。しかしそこに憎しみは全く感じ取れない。世界がこんな方へ向かって行ったら大変だ、アメリカに正常化の協力をしてくれる「パートナー」（ずっと口癖だった）が出てくるのを待っていた。それがトランプだった。

Jay Greenberg, www.neonnettle.com

July 15, 2017



ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、アメリカ、イギリスなど、西側諸国を支配しているペドファイル・ネットワークの蔓延を、公然と非難した。

<http://www.neonnettle.com/tags/vladimir-putin>

<http://www.neonnettle.com/tags/donald-trump>

最近の、トランプ大統領とのうまくいっている協調関係にもかかわらず、プーチンは、西側の文化が「サタンのペドファイルども」によって操作されているという、彼の元からのスタンスを崩していない。

今年（2017）、G20 サミットで、ドナルド・トランプと会う前に、プーチンは、もし彼（トランプ）が、エリート・ペドファイルのネットワークを暴露しなければ、「私の方でその名前を発表してもよい」と警告した。<http://www.neonnettle.com/tags/donald-trump>

<http://www.neonnettle.com/news/2349-putin-warns-trump-expose-elite-pedophiles-or-i-will-begin-naming-names->

この歴史的会見は、両当事者から成功とみなされ、シリア紛争やハッキングの主張に関しては、解決の希望が見えてきたが、子ども虐待のエリートの問題については、プーチン氏の立場は変わっていない。いわく――

「ヨーロッパと西側は、ペドフィリアとサタン崇拝文化の上に栄えている。」

<http://www.neonnettle.com/tags/pedophile>

しかし、トランプ氏との会見後のさらに将来を見据えながら、プーチンは、協調の新時代の場面がここで築かれたと述べ、現在の“サタン崇拝ペドファイル世界秩序”との戦いにおいて、この会談は、「突破口」であり「将来への巨大な一歩」になると言った。

プーチン大統領は以前から、サタン崇拝とペドフィリアは、現在のロシアの直面する大問題の一つだと、強調してきた。

ヴァルダイ国際討論クラブにおいて、プーチンは誠実公正な態度で、「ペドフィリアを習慣化することが、ヨーロッパと西側を通じて、ひそかに起こっている道徳的墮落」の明らかなしるしだと説明した。

プーチンはまた、「過激な、西側流のリベラリズムを擁護する人々」は、軍事的・政治的問題と一般的な社会の条件は、世界が、基本的な人間の品位の価値を忘れることによって、悪化しつつあるという事実を、見落としていると述べた。

国際的なコンテキストにおいて、対外政策と道徳の両面で、ロシアが直面する問題に焦点を当てながら、プーチンはサタン信仰にふれた。彼はそれこそ、アメリカの土台を芯まで腐らせているものであることを、ずっと前から知っていた：――

「我々は、ユーロ大西洋諸国の多くが、西洋文明の基礎をなすキリスト教の諸価値を含めて、実は、自らの根幹を拒否している実態を、目撃しています。彼らは道徳的原理と、すべての伝統的な自らのアイデンティティを否定しています――国民的、文化的、宗教的、さらには性的なアイデンティティまで。彼らは、大家族を同性パートナーシップと、神への信仰をサタン信仰と同一視する政策を、実行しています。」

ビデオ：「プーチンが西洋諸国の道徳的危機について演説」 <https://youtu.be/tlaHubJ-fKk>

GFM 報道：これは、西側とヨーロッパの人々が、単なるプロパガンダ、バラ色の政策レトリック、株を操作する弁舌など、典型的に何も明らかにしない（そして現実を策謀で隠す）ものの集合に、慣らされているときに、一人の世界指導者の口から出た、驚くべきコメントである。

しかし、プーチンはこれで済ますことはできず、こう付け加えた：――

ポリティカル・コレクトネスの過剰は、その目的がペドフィリアを推進することであるような政党に登録することを、人々が真剣に話し合うようなところにまで達している。

[注：political correctness とは、時勢に合う政策行動のこと]

これは、“進歩的” ヨーロッパ人や、フツ化処理された西洋人の麻痺した精神に轟かすべき、もう一つの爆弾宣言である。

彼の他に何人の世界指導者が、陰険に、ますます広範囲に、常識化され推進されていくペドフィリアについて、これほど隠さず話しただろうか？ オバマは、大量ペドファイル逮捕を命令しただろうか？ どちらかのクリントンがそうしたか？ ブッシュ親子のどちらかが、ペドフィリアの流行に対して、何か意味のあることを、やったり言ったりしたか？（もちろん何も――。あなたは、彼らがそれをそっとしておくのは、自分があまりにも深入りしているからだろうと、推測したことはないだろうか？）

間違いなくプーチンは、トランプ大統領が、ホワイトハウス入りして数週間後に、アメリカ国内で1,500人ほどの逮捕を目指して、その努力を組織化したことに対し、拍手を送ったで

あろう。“進歩派”や“リベラル”たちは、それが実行されたとき、どうしたのだろうか？ 相変わらずヒラリーのことを嘆いていたのだろうか？

参考資料：「ブラッド・ピット：エリート・ハリウッド・ペドファイルがアメリカを支配している」 <http://www.neonnettle.com/news/2316-brad-pitt-elite-hollywood-pedophiles-control-america->

2012 年後半、まだオバマが職にあったとき、プーチンは実は、連邦議会からの強い支持があって、ある論争の多かった法案を通過させた。それは、アメリカの里親が、ロシアの子供を養子にすることを禁ずるもので、多くの子供が、子供取引活動に放り込まれたり、多くの孤児たちが悲劇的に、新しい家族から拒否されたり、しないようにするためであった。アメリカは、ロシアの子供たちを、年々、他の国より多く養子に引き取っている。

プーチンは、この国は、アメリカのペドファイルによる、ロシア人の子供の虐待に「責任を持とうとしないのだ」と説明した。

この禁令は、トランプ大統領が、セックス取引の流行に取り組み、ワシントン DC のペド・エリートの「泥沼を一掃する」という約束を果たすまで、という限定付きだった。どうやら、ワシントン DC の、エリート・ペド・ネットワークは、子供セックス取引に子供を引き込むために、養子縁組を利用していると思われる。ペドファイルたちが、アメリカの政治機構内部へ出入りしている、よく知られた事実を考えれば、これは当然予想すべきことだった。

プーチンは、さらに深く、悪化する道徳的危機に言及し、伝統的宗教とその道徳的基盤の浸食を批判し、これを冷笑的に「多文化主義」だと言い、そのあまり話題にならない、隠微な影響力を取り上げた：――

「多くのヨーロッパ諸国の人々は、自分の宗教的つながりを話題にすることを、ためらったり、恐れたりしています。祝日は廃止されたり、何か別の名前と呼ばれたりしています。彼らの本質は、道徳的基礎と同様に隠されます。そして人々は、攻撃的に、このモデルを世界中に輸出しようとしています。私は、これは墮落や、原始への回帰に直接つながるもので、深い、大衆的な道徳危機をもたらすものと、確信しています。」

この“ロシアの熊”は、はっきりと現代の「多文化主義」を批判し、それは「多くの点から見て、移植された、人工的モデルであり…過去の植民地主義への罰を基本としている」と言っている。現行の、作為的で強制された、我々の多くが知るようになった類の「多文化主義」は、シオニストが、全方位的地球制覇を達成するために、企んだものの一部だという事実は、

あまりよく知られてはいない。(この場合には、一国民の文化的な純粋さとアイデンティティを意図的に転倒させることによるもの——ある種のトロイの馬としての多文化主義である。)

プーチンの演説の中で見逃せないのは、New World Order 別名 One World Government アジェンダへの、広い言及と厳しい批判であり、これはプーチン自身の説明によると、地球的奴隷制度に相当する：——

「ここに見られるのは、一極世界の標準化されたモデルを復活させ、国際法と国家主権という制度をあいまいにする試みです。このような一極の、標準化された世界は、主権国家を必要としません。それは従僕を必要とします。歴史的な意味で、それは、自分自身のアイデンティティ、神の与えた世界の多様性を、拒絶することにほかなりません。」

オバマのホワイトハウスからの退場と、トランプの登場と共に、ロシアとアメリカは、近年の記憶にないような共通性をもつことになった。一つには、我々は、西側の政治と社会一般を通じて活動している、根深いペドファイル・ネットワークに対する、これほどの明らかに(米露に)共通する、反対の立場を持つとは、かつて予想しなかった。

おそらく我々は、“エリート”の、ペドファイルとサタン崇拝者ネットワークが、結局、我々の生きているうちに、その報いを受けるのを目撃することになるだろう。